

私の政策

仕事に「やりがい」、暮らしに「生きがい」を

党東京都参議院比例区第48支部長

高階 恵美子 (51)



仕事には「やりがい」、暮らしには「生きがい」を合い言葉に、活動しています。

私は、地域保健を専門とする看護職で、急性期医療、保健所・精神保健福祉行政、研究生活を経て大学教育に従事し、厚生労働省でも8年余り、専ら現場一筋に働いてきました。

社会保障は人の暮らしと共にあり、幅広く奥深く、また常に新しい課題が出てきますので、今も勉強の毎日です。しかし大局で見ると、生活者の苦悩の背景に



厚生労働大臣政務官として関係委員会に臨む高階恵美子支部長。より丁寧に分かりやすい答弁を心掛けている

た。しかし、それまで毅然としてこの国の政治を担ってきたのは自民党です。私は信頼できる先輩たちの中に入れていただき、そこから新たな一歩を踏み出したと希望しました。

に迎えられ、楽しく・豊かに・堂々と暮らし、その人らしく尊厳ある最終段階を迎えることができ「成熟社会・にほん」を実現したいと考えています。

高階恵美子(たかがい・えみこ) 理事。22年参院議員初当選。党東日本巨大地震緊急災害対策本部医療支援班長、党女性の健康の包括的支援に関するPT座長、党厚生労働部会長代理、党参院副幹事長、党参院国会対策副委員長を歴任。現在は厚生労働大臣政務官、党観光産業振興議員連盟事務局長などを務める。

高階恵美子事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参院議員会館714号室 TEL:03-6550-0714 FAX:03-6551-0714

ホームページ http://www.takagai-emiko.net/

国民一人ひとりが、楽しく・豊かに・堂々と暮らせる成熟社会を目指して

は、個人や近親者の努力だけでは防ぐことの難しい、複雑な社会病理が存在することも、徐々に鮮明となってまいります。

期に問題を克服して自立再生できるような支えることは、ますます重要な政策課題です。

ける所存です。それと同時に、今後のライフデザインのあり方についても、提案をしたと考えています。

その第一歩として、一昨年はDV防止法改正、中国残留邦人配偶者支援法に関わらせていただきました。また昨年は超党派で、女性の健康の包括的支援法を提出させていただきました。



4月の統一地方選では、公務・政務の合間を縫って全国を駆け回り、候補者と共に全力で戦い抜いた